

厚生労働省(労働基準監督署)が トラックからの墜落防止を業界・荷主に要請

(2014年8月26日号)

厚生労働省はこのほど、今年上半期の死亡災害が大幅に増加したことを受け、「労働災害のない職場づくりに向けた緊急対策」を実施する。産業界の約250団体に対し、安全衛生活動の総点検、労使一体となった労災防止活動を要請するほか、陸上貨物運送事業など特に労災が増加している業種に対して確実な対策の実施を求めていく。

今年上半期(1~6月)の労災死亡者数は全産業で437人となり、前年同期から71人、19・4%増と大幅に増加した。このうち陸上貨物運送事業の死亡者数は55人で、前年より61・8%増となり、建設業、第三次産業、製造業に次いで多い。

また、死傷者数(休業4日以上)も、全産業で3・6%増の4万7288人で、このうち陸上貨物運送事業は5・1%増の5889人となった。

陸上貨物運送事業の死傷者数は2009年以降、4年連続で増加しており、事故原因としては「墜落・転落」が全体の29・7%と最も多く、上半期も増加傾向にある(5・6%増)。特に、荷積み・荷卸し時のトラックから墜落が最も多いため、墜落防止に係る集中的な周知啓発を業界団体などに要請するほか、昨年3月に策定した「荷役作業の安全対策ガイドライン」に基づく自主点検の実施などを運送事業者・荷主双方に求めていく。

デイ・ライトで、事故に遭わない、事故を起こさない、**防衛運転**

ヒヤリ・ハットの経験を思い出そう!

◆足元はもちろん、積卸作業時の安全確認◆

子ども、自転車を見かけたら 徐行し、急な飛び出しなどに十分注意!

横断歩道のないところで、はねられる事故多発

脇道から乗用車が出てくるかも知れません!

バック時は 降りて確認 乗っても確認

交差点 「右左確認/よ~し!」

交差点 出合い頭に衝突 バイクの男性重体

2014年8月26日(火)12時19分

25日午後9時40分ごろ、神奈川県の市道交差点で、乗用車とバイクが出合い頭に衝突し、バイクを運転していた近くに住む無職男性(51)が、頭部を強く打って意識不明の重体となった。乗用車を運転していた無職女性(40)は顔を切る軽傷を負った。警察によると、現場は信号機のある十字路交差点。

駐車場から車道に出て来た車を避けようと

ミニバイクが転倒、男性けが ひき逃げ視野捜査

2014年8月26日(火)8時53分

25日午後5時20分ごろ、山形県で、ミニバイクに乗っていた30代の会社員男性が、左前方の駐車場から道路に出てきた乗用車を避けようとして転倒し、顎などに擦過傷を負った。車はそのまま走り去り、警察はひき逃げ事件の可能性を視野に調べている。同署によると、車は銀行駐車場から車道に出、南の方向に走っていった。灰色っぽい車だったという

トラックが分離帯に衝突、後続トラック追突

2014年8月26日(火)14時13分

26日午前3時50分ごろ、静岡県の東名高速道でトラック3台が関連する事故が起き、2台が横転して道路をふさいだため、約8時間通行止めとなった。3台の男性運転手3人が病院に搬送されたが軽傷のもよう。高速隊によると、追い越し車線を走行中の中型トラックが中央分離帯に衝突し停止。後続の中型トラックが停止中のトラックに追突後、走行車線の大型トラックに接触し2台が横転した。最大で6・3キロ渋滞した。